

ご成人おめでとう

321人が大人の仲間入り

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人の門出を祝い励まそうと、平成20年那珂川町成人式が1月13日、小川総合福祉センターあじさいホールで開催されました。

会場にはスーツやはかま、振りそで姿で着飾った新成人239人と来賓の方々が出席し、華やかな雰囲気に含まれました。今年は昭和62年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた321人の皆さんが大人の仲間入りをしました。

平成20年成人式は、泉正夫副町長の開式の辞とともに厳粛に式典が行われ、川崎和郎町長から「今、激動の時代ではありますが、社会がどのように変化しようとする時に流されず、人に流されず、自分の将来像をしっかりイメージして、ゆるぎない信念と決意で人生を切り開いていただきたい。さらに豊かな人間性に磨きをかけ、地域社会の創造に貢献できるよう、またリーダーとして活躍できますよう益々の精進を心から願います」とお祝いとともに期待の言葉が贈られました。

また、杉本益三町議会議長や木村泰介那珂川警察署長からお祝いの言葉が述べられました。

新成人を代表して飯田和也さん（小川）が「これまで私たちは、家族や周りの方々に

見守られ過ぎてまいりましたが、これからは一社会人として、若者の柔軟な発想と知恵をもって国づくり、地域づくり積極的に参加し、これまでの皆さまのご好意に報いることができますよう、日々努力してまいります」と将来への決意を込めた謝辞を述べました。

式典終了後は、町在住の音楽家岡倉ゆかりさんらによる記念コンサートが開催され、「何度でも」など全4曲が披露されると、会場はなごやかな雰囲気に含まれました。最後に出席者全員で「ふるさと」を合唱し、成人を祝いました。

その後、ホールの舞台で出身中学校ごとに記念写真撮影が行われました。会場周辺では、久し振りに会った友だちとカメラに収まる姿が見られました。



左下 川崎町長のことば
式典に出席した新成人たち



右下 謝辞を述べる飯田和也さん
岡倉ゆかりさんらによる記念コンサート



- ①友だち同士で記念撮影
- ②中学校の恩師と一緒に
- ③式典終了後、緊張から開放されて
- ④久しぶりの旧友との再会
- ⑤⑥⑦友だちと一緒にあじさいホール前で
- ⑧記念写真撮影を待つ間の一場面

